

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年7月2日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5. 6号機化学分析室空冷冷却器の水位計汚れによる水位確認の困難について】 当直員が、5. 6号機化学分析室空冷冷却器の水位計が汚れており、水位確認に支障があることを確認。 当該水位計汚れに伴う化学分析室空冷冷却器の運転に支障はない。 今後、当該水位計の清掃又は取替を実施予定。	GⅢ	6月28日
2	【6号機非常用ディーゼル発電機(B)非常用補機冷却系の弁の腐食について】 他グループより、6号機非常用ディーゼル発電機(A)非常用補機冷却系の空気冷却器点検架台の腐食が確認された為、修理依頼があった。 これに伴い、当社社員が同型の6号機非常用ディーゼル発電機(B)非常用補機冷却系の空気冷却器の点検架台廻りの確認を行った際、3箇所所の弁に腐食を確認した。 腐食が確認された弁については、定例試験時に異常が確認されていないことから、非常用ディーゼル発電機の運転機能に影響はない。 今後、設備保全の観点から修理を行う。	GⅢ	6月28日
3	【5号機計装用空気系除湿装置除湿塔(C)の再生排気出口弁弁棒部ナットのゆるみについて】 当直員が計装用空気系除湿装置除湿塔が(C)から(A)に自動切り替え中に、昇圧不良が発生し、停止したことを確認。 停止後、現場を確認したところ、計装用空気系除湿装置除湿塔(C)の再生排気出口弁の弁棒部ナットにゆるみが発見された。 その影響で、弁体と弁棒の接続部にゆるみが発生し、再生排気出口弁弁体が全閉ならず、昇圧不良が発生したと思われる。 5-6号計装用空気系の連絡弁を開にし、6号機より乾燥空気を供給しているため、5号機計装用空気系統への影響はなし。 今後、当該弁駆動部の調整を実施し、動作に異常のない事を確認予定。	GⅢ	6月28日
4	【サブドレン浄化設備(B)入口弁のシート漏えいについて】 当直員が、サブドレン浄化設備一時停止中に、供給タンク(A)の水位が降下し、供給タンク(B)の水位が上昇したことを確認。 サブドレン浄化設備(B)入口弁のシート漏えいが考えられる。 各供給タンク出口弁の隔離により1系列運転が可能、また2系列運転時は連絡弁により隔離されるためサブドレン浄化運転に影響なし。 今後、当該弁を予備品と交換予定。	GⅢ	6月30日